



あなたと議会を結ぶ

議会だより

●発行：鹿児島県知名町議会
 ●編集：議会広報委員会
 ●発行日：平成28年10月25日
 ●〒891-9295
 鹿児島県大島郡知名町知名307
 TEL 0997-93-3119



知名町議会の新しい顔ぶれ

平成28年8月28日に執行された知名町議会議員選挙の結果、町民の皆さまからの付託を受けて新たな議会構成が決まりました。

主な内容

- ◆ 第2回臨時会・第3回定例会のあらまし 2
- ◆ 一般質問 3～8
- ◆ 第2回臨時会の案件／知名町議会構成 9
- ◆ 第3回定例会で審議された案件 10
- ◆ 平成27年度決算の状況 11
- ◆ 議会の動き／編集後記 12



ちなボー
 知名町マスコットキャラクター

平成28年第2回臨時会・第3回定例会

第2回臨時会及び 第3回定例会のあらまし

知名町議会第2回臨時会は、8月に行われた町議会議員選挙後の初議会で、議会構成を行うため9月14日に開かれ、議長、副議長や常任委員会などの議会構成が決まりました。(9ページに議会構成を掲載してあります。)

第3回定例会は、9月26日から28日までの日程で開かれました。

今定例会では、町政全般に対する一般質問に6名の議員が登壇し、町政発展のための活発な議論が交わされました。議案審議は、平成27年度水道事業会計剰余金の処分を原案可決後、決算審査特別委員会を設置し、平成27年度一般会計など11会計全ての会計の決算を認定しました。専決処分事項の承認案件では、平成28年度一般会計補正予算、固定資産評価審査委員会委員の補欠委員の選任を承認。単独議案では、沖永良部衛生管理組合規約の変更を可決。一般会計並びに特別会計など6会計の平成28年度補正予算を原案可決しました。

また、同意案件では、教育委員会委員の任命2件に同意、名誉町民の顕彰1件に同意しました。

第3回定例会

一般質問

6名の議員が町政を問う

一般質問は、行財政全般にわたる政策論議の場であり、より良い町政を目指して町政の各方面にわたって質問が行われました。

3ページから掲載の内容は、主な項目についての質問と答弁の要旨です。(質問順に掲載)

○ 今井 吉男 議員

1. 本町の町制施行80周年に向けた町づくりについて
2. 田皆、知名認定こども園の開園に伴う旧園舎施設の活用計画について
3. 第5次知名町総合振興計画の事業計画の見直しについて
4. 町内の県道改良・拡幅工事計画について

○ 宗村 勝 議員

1. この度の町議会議員選挙に関し選挙カーに対する注意喚起について
2. 竿津消防団車庫新築建て替えを求める陳情に対する事について
3. 余多字公民館建設について
4. 竿津字内の町道整備について

○ 大藏 哲治 議員

1. 新庁舎について
2. 町道脇の除草について
3. 知名漁港の製氷施設について

○ 中野 賢一 議員

1. 町政全般について

○ 外山 利章 議員

1. 花き振興策について
2. 農業の後継者対策について
3. 住民参加型のまちづくりについて

○ 西 文男 議員

1. 障がい者支援について
2. 児童生徒の医療費等の無償化について
3. 道路行政について

知名町議会では、一般質問の様子をインターネット配信しています。インターネットが利用できる環境であれば、公開中の映像をいつでもご覧いただけますのでご活用下さい。

※ホームページに記載されている免責事項(注意事項)を必ずお読みになってからご利用ください。

(知名町ホームページ: <http://www.town.china.lg.jp/>)



今井吉男 議員

町制施行80周年に向けた町づくりについて

町長／「住み続けたい、誇りと自信あふれる町づくり」を目指します



現在の役場庁舎



旧上城幼稚園園舎

町内の県道改良・拡幅工事について。

町長「学校給食センターや、田皆岬展望所付休憩所等が計画より遅れている。現在、見直し作業を行っている。」

第5次知名町総合振興計画（平成22年度～平成31年度）の中で、学校給食センター等の建設が計画より遅れている。事業計画を見直す考えはないのか。

町長「旧田皆公民館は、田皆コミュニティセンターの竣工に伴い、土地を交換したことで、建物を字で解体し、町へ返すことになっている。」

その他の遊休施設と遊休地の現状と今後の活用計画について。

町長「今後の計画は、田皆字の集落内、正名字の集落内、屋子母字の集落内、知名字の農協スタンドからTマー

町長「現在、町内で実施している工事は、正名字と田皆字間の延長7.6メートルを整備中で、平成30年度完了予定です。」



県道国頭知名線田皆地区

町長「赤嶺字までの区間について、県に要望書を提出している状況ですが、県道の改良工事は、県は基本的に一事業完了後に、新規事業を実施する方針のため、正名工区完了後に、次の新規地区採択になる。」

町長「今後の計画は、田皆字の集落内、正名字の集落内、屋子母字の集落内、知名字の農協スタンドからTマー

町長「今後の計画は、田皆字の集落内、正名字の集落内、屋子母字の集落内、知名字の農協スタンドからTマー

9月1日で町制施行70周年を迎えた。80周年に向けた町づくりビジョンは。

町長「人口減少の克服、地域経済の発展につながる施策を実施し、「住み続けたい、誇りと自信あふれる町づくり」を目指します。」

役場新庁舎建設計画について。

町長「現役場庁舎は、昭和38年の竣工から53年が経過、防災体制の不備や町民の利便性等の問題を抱えており、町制70周年を機に検討する。」

来年12月で、町長の任期満了となるが、平安町長は、引き続き町の舵取り役を考えているのか。

町長「現段階では、残りの任期を全うする事に傾注しながら、時期が来たら身の処し方を表明したい。」

田皆認定こども園と来年4月開園予定の知名認定こども園の開園に伴う、保育所と幼稚園園舎の活用計画について。

町長「田皆保育所は、老朽化で解体後、田皆コミュニティセンターを建設した。下平川保育所は、企画振興課において、通信制大学を誘致する

知名保育所の活用については、現段階では決まっていない。知名幼稚園は、鉄筋の腐食による爆裂が激しく、取り壊す予定。下平川幼稚園は、放課後クラブまたは、学校とPTAで活用する予定。上城幼稚園は、小学校が活用予定。住吉幼稚園は、NPO法人「ぼてと」が、児童発達支援事業所を開設している。

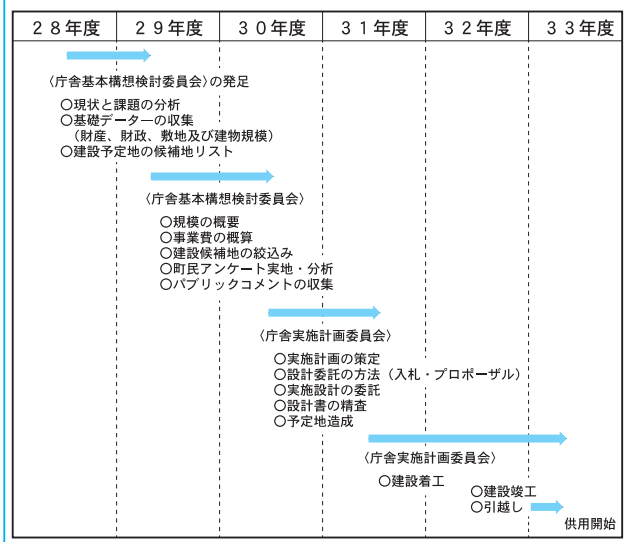


大蔵哲治議員

役場新庁舎建設までのプランニングは

町長／役場新庁舎基本構想検討委員会を発足させ、検討する

図1 役場新庁舎建設スケジュール (案)



問 役場新庁舎建設の計画が進んでいるようですが、準備委員会の発足はどうなっているのか。建設地を現在地にするのか、移転するののかは、人の流れ、街の形も大きく変わるので広く町民の意見を求めるべきだと考える。新庁舎建設までのプランニングを示していたらいい。

答 町長は準備委員会の発足には到っていないが、今後、早い時期に「役場新庁舎基本構想検討委員会」を発足させ、財源や規模、建設の予定地などを検討すると共に、幅広く意見を求める方策を検討したい。役場新庁舎建設スケジュール(案)については図1に示したとおりです。

問 町道脇の除草に除草剤を使用したとみられる箇所が見受けられるが、観光に力を使っている本町として、観光面でのマイナスイメージが大きいと思われる。せめてフロアールホテル、屋子母海岸線、小米く大山線等、観光に関わる道路は従前の草刈りに戻した方が良いと思うが、どう考えるのか。

答 町長は平成26年12月議会において、除草剤を使用できないか検討してみたが、とのご指摘をいただき調べましたところ、環境省の雑草管理マニュアルに基づいて使用できることがわかり、昨年の8月から一部路線で除草剤での対応を実施しています。道路を管理するものとしては、従前の採に比べ、作業スピード、費用面でも効果があると感じていますが、指摘にあるように観光面でのマイナスイメージがあることも理解しながら散布のタイミン等、路線の選定等検討したい。



知名漁港の製水施設

問 知名漁港の製水施設が、現在使用できる状態ではなく、漁業を営む皆さんは和泊漁港まで取りに行っている状況で、非常に不便をきたしており、早めの修理をお願いしたい。

答 町長は当該製水機は、設置から24年が経過し、これまで台風や破損等でその都度修繕を重ねてきたところですが、近年では修繕後まもなく故障する状況が続いています。このことから、漁業者や一般の方々にご不便をおかけしますが、当分の間は和泊の漁港にありますが、製水機を利用いただき、その間に漁協と相談し、国等の事業で新たな製水機が導入できないか、検討したい。

正名地区の県道整備について



中野賢一 議員

町長／今後も早期事業採択に向け、継続して要望を 続けていきたい

問 正名地区の県道整備について、現在進行中の県道整備は平成25年度から平成30年度までに正名地区は完了となっているが、最終附近はどのあたりまでなのか、継続して住吉集落とつながるのか。

答 町長 県道整備は、急勾配・急カーブ区間を改良するバイパス部の300mを中心にして、全体延長766mの道路改良工事が行われており、平成30年度の完成予定となっている。工事の区間は、正名側は、林建設から正名方向へ約150mの地点から、田皆側は興和自動車整備工場から田皆方向へ約100mの地点と聞いている。次に、正名集落内の県道整備については、平成15年9月に道路整備要望書が字から町へ提出され、同月に町から県へ県道改良整備要望書が提出しており、また、平成20年6月に再度の道路整備要望書が字から町へ提出があり、同月に町から県道改良整備整備要望書を提出している。二度にわたって要望書を提出しているが、県の道路改良等の公共事業については、効果的・効率的な事業実施を行うために個別の地区及び箇所を対象に、必要性・重要性・緊急性・効率性・熟度の評価を行

った上で優先順位の決定を行うとのことですが、人家密集地区での多額の用地補償を要する地区・箇所については優先度評価が厳しい状況であると感じている。しかしながら、今後も早期事業採択に向け、継続して要望を続けていきたい。



正名地区の県道整備

問 幼稚園・保育所の一元化で子育て事業の推進について。

答 町長 幼稚園・保育所の一元化については、地域において子供が健やかに育成される環境を整備し、小学校就学前の子どもに対する教育・保育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を推進す

るために、幼保連携型の認定こども園を開園しているところですが、また、平成29年度からは公立認定こども園2ヶ所、私立保育園1ヶ所を合わせると定員320名となり、平成27年度から実施している一時預かり事業なども含めて幅広い教育・保育の場を提供することができると考えている。



知名認定こども園「すまいる」完成予想図

問 地下ダムの完成による畑かん施設の拡充と営農体制の強化について。

答 町長 平成33年度完了予定の国営地下ダム事業は平成27年度までの進捗率が予算ベースで約56%。地下ダム止水壁工事は、全12工区中5工区が

施工済、今年度は新たに発注する1工区を含め4工区を施工することとしており、来年度以降残りの3工区を実施する予定と聞いている。また、これに関連する附帯末端かんがいの施設についても平成33年度の完成を目標に実施中となっている。一方で、平成26年度から一部の受益地区へ通水が開始され、今年度以降も順次通水地区を拡大していく計画と聞いている。畑かん施設整備に併せ、農家経営の安定と向上を図るため、「沖永良部畑地かんがい営農ビジョン」を策定し、計画的な水利用による生産性の向上や省力化、地域性に即した高収益作物の拡充など、畑かん営農の推進に努めています。



国営地下ダム工事



伊山利章 議員

町の行財政や施策について学べる「まちづくり町民講座」の開催は

町長／団体要望あれば情報提供の場として検討したい

問 住民参加型のまちづくりについて。
① 知名町人口ビジョンの「みんなで創り みんなで育む みんなのまち」の基本理念は、

答 町長 Ⅱ まちは町民一人ひとりが幸せな生活を演じるためのステージという考えを基本とし、すべての町民が主人公として輝き、知名町に住むことを誇りに思い、いつまでも知名町に住み続けたいと思うようなまちづくりの推進に努める。



問 ② 「まちづくり」を進める上で重要な情報が共有化されているが、住民への情報提供についての取り組みは十分か。

答 町長 Ⅱ 現在は防災無線、広報誌、HPなどで情報提供しているが、新たにフェイスブックや紙媒体で宣伝できる方法を模索するとともに、情報提

供の方法についても住民ニーズに対応したあり方を検討したい。

問 ③ 町民と行政が情報、問題意識を共有するために、町の行財政や施策について学べる「まちづくり町民講座」などの勉強会を開催できないか。

答 町長 Ⅱ 同好会的な集まりではなく、婦人会や農業青年クラブなど各種団体から具体的な内容について勉強会開催の要望があれば検討したい。

問 ④ 花き振興について。
① 本町における花き農業の現状と課題についての認識は。

答 町長 Ⅱ 長引く景気低迷と消費の減少による価格低迷など大変厳しい状況と認識している。安定出荷体制の確立と再生産可能を安定的に確保する流通・販売対策の再構築が大きな課題だと考えている。

問 ② 「えらぶゆり」の振興策と今後の展望について。

答 町長 Ⅱ これまで行った消費地調査において、花屋等の実需者や消費者には、産地の魅力や情報が伝わっていないことが分かった。今後は観光と

も連携し、地域特産品を活用した販促活動や「えらぶゆり」の認知向上に向けた情報発信の取り組みを強化したい。また、実需者のニーズや情報を産地にフィードバックすることで生産者の意欲向上やブランド力の向上、他産地との差別化に繋がっていき



えらぶゆり

問 ③ 消費者ニーズを把握した販売戦略が必要だと思ふが。

答 町長 Ⅱ ご指摘のとおり、花き振興を図るためには消費者ニーズに対応した産地振興に取り組むことが必要。各関係機関の連携を強化し取り組んでいきたい。

問 農業後継者対策について。
① 本町就農者の年齢構成と今後の推移は。また新規就農者数と本町の後継者対策は。

答 町長 Ⅱ 高齢化と農業従事者の減少で農業構造の変化が危惧される。町としても新規就農者の育成・確保を重点事項と捉えており、各種技術・経営支援や施設整備等の導入支援に取り組んでいきたい。

問 ② 本町独自の後継者対策は行われているか。またその実績は。

答 町長 Ⅱ 国・県の施策の積極的活用を図りつつ、ニーズに合った後継者対策を推進して参りたい。

問 ③ 人材育成と後継者確保対策として、沖永良部高校への農業関連学科の創設を県に要望してはどうか。

答 町長 Ⅱ 本島の幹幹産業は農業であり、農業の振興を図るための人材育成を推進するには、あらゆる手段を講じることが大切。学科の新設は希望人数、必要性、期待される成果などを総合的に判断し、県に要望することになる。現状では新しい学科の新設は難しいのではないかと思います。

障がい者支援について



西 文男 議員

町長／旧住吉幼稚園敷地及び園舎を無償で貸与



児童発達支援事業所「ぼてと」

問 児童発達支援事業所「ぼてと」への支援対策は。

答 町長「児童発達支援事業所「ぼてと」の開所時に、旧住吉幼稚園敷地及び園舎を無償で貸与し、必要な事業用地の確保や建設等の経費の負担軽減を図ることで、事業運営ができるよう支援を行つてい

問 児童発達支援事業所「ぼてと」の対象児童数は把握しているか。

答 町長「現在、保健センターでは、乳幼児健診等の機会を

活用して発達障害への理解を促すとともに、保護者への相談業務を行つており、その中で、支援対象として把握している未就学児と就学児を合わせると、約30名程となつている。

問 具体的な児童の支援対策は、どのように考えているか。

答 町長「3歳児検診等で言語の遅れや発達全般で気になる幼児に小児科受診や県の巡回相談受診を行い、その結果、「療育手帳」、「身体障害者手帳」取得を薦め、障害者総合支援法に基づく各種支援が受けられるように取り組んでいる。

問 保育所、幼稚園、小学校等の連携はどう考えているか。

答 町長「発達障害は、気づきの時点から保育所、幼稚園、小学校等各ステージにおける療育や教育などの様々な関わりを通じて、サポートファイナルによる情報の共有・継承や自立支援協議会の中の「子ども部会」での協議を通じて連携を図つていきたい。

問 地域及び関係機関への啓発は、どう考えているのか。

答 町長「町広報誌10月号に「ぼてと」の記事を掲載予定です。また「発達障害支援関係機関合同研修会」を引き続き開催し、地域や関係機関への啓発を行う予定です。

問 児童生徒の医療費等の無償化について。

答 町長「高校生までの医療費助成の拡大については、財源の確保、適正な自己負担額の設定、対象者の住所や、就学要件など、今後検討しなければならぬ課題があり、これらを踏まえたうえで助成が可能であるかを判断したいと考えています。

問 給食費を無償化している市町村もあるが、本町として給食費の保護者負担の軽減は考えていないか。

答 町長「教育費あるいは町全体の予算をみてみると、これだけの財源を他の予算から削つて継続的に給食費の補助に回す余裕はないこと、また児童生徒の昼食であることを考えますと、今のところ給食費の無償化は難しいと考えています。

問 住吉屋古江線の路面に凹凸があり、交通に支障をきたしている。整備についてどう考えているか。

ている。整備についてどう考えているか。

答 町長「こ指摘の箇所については、乳剤散布を実施してありますが、降雨や通過交通等により路面が悪くなつており、住吉字区長からも要望を聞いていました。農地整備事業の知名南西部地区の地区外となつているため、コンクリート舗装で対応予定です。



住吉屋古江線

問 道路の両側で高低差が2メートル以上の箇所があります。安全対策をどう考えていますか。

答 町長「道路の両側で高低差が2メートル以上ある箇所は、設置要望や危険箇所を確認し、必要と思われる箇所に随時設置を進めています。

平成28年第2回臨時会の案件

議案番号	付 議 件 名	議決結果
選挙第2号	議長選挙	
	議席の指定	
選挙第3号	副議長選挙	
	常任委員会委員の選任(各委員会6名)	
	議会運営委員会委員の選任	
選挙第4号	沖永良部バス企業団議会議員選挙	
選挙第5号	沖永良部衛生管理組合議会議員選挙	
選挙第6号	沖永良部・与論地区広域事務組合理議会議員選挙	
同意第1号	知名町監査委員の選任に付き同意を求めることについて(今井 吉男)	同 意
決定第4号	閉会中の継続調査の件について	決 定

知名町議会構成

【正・副議長】

議長	名 間 武 忠	副議長	平 秀 徳
----	---------	-----	-------

【議 席】 任期：平成28.9.14～32.9.13

議席番号	氏 名
1	新 山 直 樹
2	外 山 利 章
3	根 釜 昭 一 郎
4	欠 番
5	西 文 男
6	宗 村 勝
7	大 藏 哲 治
8	中 野 賢 一
9	今 井 吉 男
10	福 井 源 乃 介
11	奥 山 直 武
12	平 秀 徳
13	名 間 武 忠

【常任委員会の構成】

総務文教常任委員会	
委員長	中 野 賢 一
副委員長	大 藏 哲 治
委 員	新 山 直 樹
委 員	根 釜 昭 一 郎
委 員	福 井 源 乃 介
委 員	名 間 武 忠

経済建設常任委員会	
委員長	宗 村 勝
副委員長	外 山 利 章
委 員	西 文 男
委 員	今 井 吉 男
委 員	奥 山 直 武
委 員	平 秀 徳

【議選監査委員】

監査委員	今 井 吉 男
------	---------

議会運営委員会	
委員長	平 秀 徳
副委員長	根 釜 昭 一 郎
委 員	中 野 賢 一
委 員	宗 村 勝

議会報編集委員会	
委員長	西 文 男
副委員長	新 山 直 樹
委 員	外 山 利 章
委 員	根 釜 昭 一 郎
委 員	宗 村 勝
委 員	大 藏 哲 治

【各組合議会議員】

任期：平成28.9.14～32.9.13

沖永良部バス企業団	沖永良部衛生管理組合	沖永良部・与論地区広域事務組合
新 山 直 樹	宗 村 勝	外 山 利 章
根 釜 昭 一 郎	中 野 賢 一	西 文 男
大 藏 哲 治	福 井 源 乃 介	今 井 吉 男
平 秀 徳	奥 山 直 武	

平成28年第3回定例会で審議された案件

議案番号	件名	議決結果
報告第5号	平成27年度健全化判断比率について	報告
報告第6号	平成27年度資金不足比率について	報告
報告第7号	平成27年度教育委員会活動の点検・評価報告書について	報告
議案第53号	平成27年度知名町水道事業会計余剰金の処分について	原案可決
認定第1号	平成27年度知名町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第2号	平成27年度知名町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第3号	平成27年度知名町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第4号	平成27年度知名町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第5号	平成27年度知名町奨学資金特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第6号	平成27年度知名町国民宿舎険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第7号	平成27年度知名町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第8号	平成27年度知名町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第9号	平成27年度知名町合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第10号	平成27年度知名町土地改良事業換地清算特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定第11号	平成27年度知名町水道事業会計歳入歳出決算の認定について	認定
承認第13号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第13号） 平成28年度知名町一般会計補正予算（第2号）	承認
承認第14号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第14号） 知名町固定資産評価審査委員会委員の補欠委員の選任について（東 則雄）	承認
議案第54号	沖永良部衛生管理組合規約の変更について	可決
議案第55号	平成28年度知名町一般会計会計補正予算（第3号）について	原案可決
議案第56号	平成28年度知名町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第57号	平成28年度知名町介護保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第58号	平成28年度知名町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第59号	平成28年度知名町下水道事業特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第60号	平成28年度知名町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
同意第2号	知名町教育委員会 委員の任命に付き同意を求めることについて（石上 志乃）	同意
同意第3号	知名町教育委員会 委員の任命に付き同意を求めることについて（高野 雄一）	同意
同意第4号	知名町名誉町民の顕彰に付き同意を求めることについて（田畑 陽一郎）	同意
発議第7号	議員派遣の件について	決定
決定第5号	知名町人権擁護委員の推薦に付き意見を求めることについて（伊井 清勝）	決定
決定第6号	閉会中の継続調査の件について	決定

平成27年度 一般会計など11会計の決算を認定 歳出総額約80億9,500万円

全会計での総計決算額は、歳入8,335,439,897円、歳出8,095,003,446円で、差引240,436,451円となっている。この形式収支から翌年度への繰越財源である529,000円を差し引いた実質収支額は、239,907,451円の黒字決算となっている。

(単位:円)

区 分	歳 入	歳 出	歳入歳出差引残額 (形式収支額) (C)	翌年度へ繰越 すべき財源 (D)	実質収支額 (E)=(C)-(D)
	収入済額 (A)	支出済額 (B)			
一 般 会 計	5,626,288,351	5,458,374,073	167,914,278	529,000	167,385,278
特 別 会 計	国民健康保険	1,234,191,791	1,224,871,406	9,320,385	9,320,385
	介護保険	759,039,865	713,862,480	45,177,385	45,177,385
	後期高齢者医療	75,103,082	74,094,054	1,009,028	1,009,028
	奨学資金	23,076,602	23,043,774	32,828	32,828
	下水道事業	185,326,221	184,449,574	876,647	876,647
	農業集落排水事業	172,736,917	171,371,594	1,365,323	1,365,323
	合併処理浄化槽事業	12,417,969	11,841,236	576,733	576,733
	国民宿舎	53,422,537	53,212,415	210,122	210,122
	土地改良事業換地精算	13,941,088	1,871,466	12,069,622	12,069,622
	小 計	2,529,256,072	2,458,617,999	70,638,073	70,638,073
水道事業会計	179,895,474	178,011,374	1,884,100		1,884,100
合 計	8,335,439,897	8,095,003,446	240,436,451	529,000	239,907,451

一般会計・特別会計に対する監査委員の意見（抜粋）

歳入においては、一般会計における町の自主財源である町税、基盤整備分担金、児童福祉費負担金、住宅使用料等の滞納の解消、また、特別会計では国保税等の滞納の解消が大きな課題である。これらの収入未済額については、関係各課において期間を設定して徴収を強化したり、電話催促、納税相談、納税誓約、戸別訪問など各般にわたる徴収努力がなされているところであるが、容易に改善されないことも看過できない事実である。収入未済額は依然として多額であり、厳しい財政状況の中、財源の確保と公平負担の観点から住民に不公平感を抱かすことのないよう、『第三次知名町行政改革大綱』に掲げられた全庁的な『徴収特別対策会議』の開催、さらには、徴収体制の整備も含め行政全体でより効果の上がる対策を講じ、その解消に努めるとともに、使用料、手数料等の見直しを行い、自主財源の確保に努められたい。

一方、歳出においては、厳しい財政状況の中、一般会計においては、福祉施策の充実、産業の振興、交通体系等の社会資本の整備、教育環境の整備、社会教育の充実などの諸施策が積極的に計画、執行され成果を取ったことを評価したい。また、特別会計においても保健医療対策や介護保険制度や後期高齢者医療制度の充実、さらには公共下水道事業、農業集落排水事業、合併処理浄化槽事業による生活環境の整備が積極的になされたことを評価するが、加入率の促進を図られたい。

水道事業会計に対する監査委員の意見（抜粋）

厳しい経営状況にありながら、人件費の縮減等や路面復旧工事を職員で行う等の経費の節減に努めつつ、既存施設の適正な維持管理と水道水の安定確保を図る一方、建設改良事業により期限切れに伴うメーター器の購入、取替え、ポンプの修繕、取替えや老朽化した配水管の一部布設替えを行うなど有取率の向上に向けた取り組みがなされるなど、全般的に安定した企業経営による飲料水の供給が行われている。

今後の企業経営にあたっては現況分析を行い、業務内容の見直し等により費用の縮減に努めるとともにバランスを図りながら健全な企業経営に努められたい。

6月

- 16日・第2回定例会閉会
- 17日・大島支部消防操法大会優勝祈願
- 19日・第42回大島支部消防操法大会（徳之島町）
- ・JAあまみ知名事業本部第1回組合員大会
- 20日・第169回大山神社祭
- ・大島支部消防操法大会ポンプ車の部上平川分団優勝祝賀会
- 21日・（仮称）知名認定子ども園新築工事起工式
- 23日・知名町糖業振興会役員会
- 24日・おきえらぶフローラルホテル株主総会
- 25日・沖永良部島漁業協同組合第56回通常総会（沖永良部島漁協）
- ・田皆字きび祭り
- 26日・大島支部消防操法大会知名分団慰労会
- 29日・沖永良部昇竜洞観光社通常総会

7月

- 22日・防衛省全国情報施設協議会総会（東京都）
- 27日・第57回大島地区大会知名町選手団解団式
- 30日・昇竜洞安全祈願祭
- ・ふるさと夏祭り（前夜祭）
- 31日・ふるさと夏祭り（本祭・花火大会）

8月

- 3日・第10回知名町子ども議会
- 6日・あまみ農協利用者年金友の会知名支部総会
- ・さくら園夏祭り
- 10日・奄美・やんばる広域圏交流推進協議会総会（沖縄県名護市）
- 19日・国保運営協議会
- 20日・四並蔵神社奉納相撲大会

9月

- 1日・社会福祉協議会敬老会・通所事業10周年祝賀会
- 9日・南栄糖業定時株主総会（和泊町）
- 10日・さくら園敬老会
- 11日・沖永良部高校体育祭
- 14日・第2回知名町議会議臨時会
- 15日・白百合大学敬老会
- ・長寿園敬老会
- 16日・議長・副議長就任挨拶回り
- ・第34回知名町合同金婚式
- 21日・議会運営委員会
- ・交通安全パレード・街頭キャンペーン（和泊町）
- 22日・あざ・まち元気サミット2016（和泊町）
- 25日・中学校体育祭
- 26日・第3回議会議定例会開会

- 1日・知名町教育懇談会
- 7日・知名町糖業振興会定期総会
- 9日・国営事業所開所9周年記念グラウンドゴルフ大会
- 10日・沖永良部徳洲会病院地鎮祭
- 13日・公立高校生徒募集定員策に係る情報交換会
- 14日・公立高校生徒募集定員策定地区説明会
- 16日・サンゴ再生・植付プロジェクト
- 17日・知名町赤十字奉仕団研修会
- ・第23回海人まつり（沖永良部島漁協）
- 19日・公民連携（PFI・PFI）事業に関する研修会
- 21日・夏の交通事故防止運動街頭キャンペーン

お詫びと訂正

議会だよりNo.1411号（7月発行）の7ページの文章中、「ジェット機就航が可能な空港にするためには国の基準があり、年間空港の利用者が1万人以上でなければならず」とありますが、正しくは「年間空港の利用者が11万人以上」になります。
お詫びして訂正いたします。

編集後記

天高く馬肥ゆる秋となりました。8月に町議会議員の改選があり、5名の現職、7名の新人議員が誕生しました。心機一転、議会議員12名全員で力を合わせ、町民の為、町民目線で頑張りますので、宜しくお願い致します。

今号は、9月14日に行われた第2回臨時会の議会構成、9月26日から28日までの3日間開催された第3回議会議定例会の平成27年度一般会計、特別会計、水道事業会計の決算の認定、町長が任命する人事案件や名誉町民の顕章の案件が主な内容です。

今定例会に各方面から、多くの皆様が議会傍聴に貴重な時間を費やして頂いたこと、心より感謝申し上げます。

結びになりますが、議会活動には町民の声が必要です。いつでも、どこでも私も議員に声を届けて頂き、共に住み良い知名町にしたいと思っておりますので、ご指導、ご鞭撻宜しく申し上げます。

議会広報委員長 西 文男